

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝				
日時	2019年12月26日（木）		9:00 ~			
会場	旭川市リアルター夢りんご体育館Aコート					
結果	<p>北門 旭川</p> <p>41</p>	<table style="border: none;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="text-align: center; padding: 0 10px;"> 6 — 18 6 — 22 20 — 13 9 — 17 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table>	}	6 — 18 6 — 22 20 — 13 9 — 17	}	<p>愛宕 旭川</p> <p>70</p>
}	6 — 18 6 — 22 20 — 13 9 — 17	}				

第34回北海道中学校バスケットボール新人大会



【戦評】

旭川地区3位の旭川北門と旭川地区1位の旭川愛宕、同地区の対決となった準決勝。

「1Q」北門④⑤⑦⑩⑬、愛宕④⑤⑥⑦⑮でスタート。北門⑦のジャンプシュートでフリースローをもらい、1点を先取。愛宕は⑭のミドルシュートから少しずつ点数を重ねる。北門もフリースローや3Pで得点を重ねるも、愛宕のDFに苦しむ展開が続く。北門はタイムアウトをとって体制を立て直そうとしたが、ターンオーバーにより愛宕の得点がさらに重なり6-18で終了。

「2Q」序盤に北門のリバウンドから速攻が決まり、巻き返しを図るが流れをつかめず残り6分で北門がタイムアウトをとる。しかし、1Qから続く愛宕のDFやリバウンドの強さに北門は得点が奪えない時間が続いた。選手交代で流れを断ち切ろうとした中で、愛宕の④⑥のロングシュートも決まり、さらに点差が広がり12-40で2Qを終える。

「3Q」後半は愛宕のパスカットから速攻を決めてスタート。そのまま愛宕の流れになりそうなところを、北門⑩がリバウンドで応戦。その後北門⑩のリバウンドシュートが決まり始め、北門の勢いが増す。どちらも譲らない展開の中、愛宕のファールやミスが続く、残り4分半で愛宕がタイムアウト。その後、愛宕に流れが戻り始めたが、残り1分半で北門がタイムアウトで断ち切る。さらに北門⑤の3Pも決まり、北門が点差を詰めて32-53で3Q終了。

「4Q」愛宕④が3Pを決め、3Qでの良くない流れを断ち切り4Qがスタートした。その後、ターンオーバーで、一気に愛宕のペースになる。詰めていた点差を元に戻され、残り4分で北門がタイムアウトを取った。DFやリバウンドで応戦するも、愛宕の冷静なボール回し、ドライブやミドルシュートにより、流れが変わらず41-70で愛宕が勝利した。最後まであきらめず戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。

記録 旭川地区バスケットボール協会U-15部会 山下 景子